

かながわ婦人元年



かながわ女性プラン(昭和57年)



江の島にオープンした婦人総合センター

新しい男女共同参画社会の始まり

婦人問題解決の考え方を示すかながわ女性プランの策定、女性の自立と参画を進めるための県立婦人総合センターの開館、プランの推進とセンターの運営に積極的に参加する民間組織である、かながわ女性会議の結成。この三本柱がそろった昭和57（1982）年のことを「かながわ婦人元年」と呼びます。この年、県は、平等と連帯に基づく新しい男女共同社会を築き上げるための第一歩を踏み出しました。

婦人総合センターは、県で生活する348万人（当時）の女性の活動拠点として、自主的活動のための場の提供と支援・調査研究・情報提供・研修、講座の開催など多様な機能を備え、婦人問題の解決のため取り組みました。その後、平成3（1991）年に、県立かながわ女性センターに名称を変更。平成24（2012）年には利用者400万人を達成し、平成27（2015）年に、かながわ男女共同参画センター（かなテラス）と名称を変え、現在も男女共同参画社会実現のため様々な事業に取り組んでいます。

また、かながわ女性プランは、新かながわ女性プラン、かながわ女性プラン21、かながわ男女共同参画推進プランと名称を変えながら、現在は、第5次かながわ男女共同参画推進プランとして、“すべての人が個性と力を発揮できるジェンダー平等社会へ”を基本目標に掲げ、当事者目線に立った施策に取り組んでいます。



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ